

うめナビ

2015.3
Vol.36

ICT社会を支える優れたエンジニア集団
確かな技術と人間力で、トリプルA
『安心、安全、安定』を提供

東信産業

東信産業(目黒区大橋、武測政彦社長、03・3465・2881、<http://www.toshin-san.co.jp/>)は、昭和47年、IT機器のハードウェア保守サービス会社として設立して以来、40年以上にわたり、あらゆる分野に浸透し複雑化しながら進歩し続けるIT最新機器に対応することでお客様の信頼と信用を得、ともに成長してきた。また、環境保全活動を通して社員の育成、社会貢献に取り組んでいる。

同社の保守サービスは、企業向けIT機器、流通系端末、金融機器、ネットワーク機器と多種多様な機器を対象に、お取引先での機器設置・解体作業、メンテナンスなど定期点検、故障の緊急対応のサービスを提供している。IT機器の保守と言っても、単に機械の点検や修理だけではない。どのような異常が発生しているのか正確に判断するためには、高いITスキルとともにお客様から故障の状況を聞き出すヒアリング力が鍵に



武測政彦社長(左)

また、必然的にお客様の社内データを取扱う機会も多い。個人情報の流出が問題視される昨今、同社では、お客様が満足するサービスを提供するために、ITスキル、ビジネススキルの定期研修、資格取得の推奨およびサポートを実施している。また、事件、事故防止として、コンプライアンス、作業ミス対策を徹底的に教育している。前年度より、保守サービスのノウハウを活かして育成したネットワークエンジニアの派遣を開始した。併せてコールセンター要員の派遣も開始し、将来的には包括的なサービスにつなげる。ネットワークエンジニアなど、人材不足にお悩みの企業は、お気軽にご連絡ください。



作業現場

健康で充実した毎日を地域の皆様に
家族三世代が集う、
鶴川のスポーツコミュニティ

ジップスポーツパーク

(株)ユニコーン(町田市三輪町、044・988・5771)の経営するジップスポーツパーク(町田市三輪緑山、矢沢直樹社長、044・988・5335)は、「スポーツを通じて明るく活気ある町づくり」をコンセプトに掲げた地域密着のスイミングスクール兼スポーツクラブである。前スポーツクラブの撤退後1年間のリニューアル期間を経て、今年1月4日にグランドオープンを迎えたばかりだ。ペビーからジュニア・シニアまで幅広い世代の利用者が、スイムを中心としたさまざまなスポーツを楽しんでいる。

マシンジム(1F)には、色分けされた有酸素系のフィットネスマシンがコンパクトに設置され、スタジオ(2F)やプール(3F)には、子ども向けプログラムを保護者が観覧できるギャラリースペースが設けられている。また、豊富なスイミングプログラムに対応できるようプールは5コースをご用意。広々とした眺望を楽しめる、採光のよい明るい空間となっている。

ロッカールームも、大人と子どもアメニティが区別され、キッズ専用ロッカーはパステルカラーで統一されるなど細かい配慮が伺える。夕方からのスイミングスクールの半径3kmのルートを中心に巡回するジップスクールバスを使って多くの子どもたちが通い、賑わいを見せている。同クラブでは、この他に「ジャッ



ロビーも広々としてくつろぎやすい



存分にスイミングを楽しめるプール

プテニスアリーナ(インドアのテニススクール)やジップゴルフアリーナ(練習場、スクール)を展開し、全国でも珍しく、半径500m圏内にテニス・ゴルフ・スイムの各事業所を持っている。多種目のスポーツを幅広い世代の利用者が楽しめるよう、総合スポーツコミュニティづくりを推進している。

無料体験(要予約)・ご見学は随時受付中。詳しくはホームページ(<http://www.sports-zip.com/>)

うめナビ
送付先業種



商社
13先



スーパー・小売・百貨店
24先



メーカー
18先



マスコミ
59先



教育(大学・専門学校)
31先



公共機関
17先



ホテル
14先



金融
53先



建設関連
20先



システム関連
11先



その他
76先

合計
336先

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

創業から40年、エレガンスファッションを追求してきた レディスファッションブランド 『ZIN KATO』

じん
人

人(世田谷区深沢、加藤徹社長、

03・3704・4050)は、加藤社長の学生時代、デザイン界の芥川賞と呼ばれる「装苑賞」受賞を契機に、昭和50年に設立された。繊細でクチュール感があり、時代にとらわれない服“というモットーを貫き、平成13年に開設したロサンゼルス直営店を基盤に海外事業を展開、そこでの出会いがきっかけとなり日本のテレビショッピング企業大手、ジュビターショッピングチャンネルとの取引を開始した。現在、ショッピングチャンネル(テレビショッピング)にて、同社ブランド商品は10年以上高い人気を誇っている。

その後、平成15年より、今も同社のメインブランドである「ZIN KATO」を立ち上げ、平成18年に東京コレクション(現メルセデスベント・ファッションウィーク)に参加。昨年11月には、日本への生花輸出大国コロンビアの大使館からの依頼により、「11月22日(いい夫婦の日)に生花を奥さんに贈ろうイベント」を華やかに盛り上げるための企画に抜擢され、大使公邸にてファッションショーを開催



「ZIN KATO」ブランド

した。

また、加藤社長の父親が国後島出身である関係から、平成21年、22年に北方領土にて現地のロシア人をモデルにファッションショーを開催し、日ロ友好関係を切り拓く試みとして読売新聞ほかで取り上げられるなど、国内外から注目を集めている。加藤社長は同社の製品づくりについて「当社は、製品価格以上の価値のあるものをお客様にご提供して喜んでいただくことが使命です。今後は、東南アジアへの進出なども計画しており、国内、海外問わずより多くの人々に良質な服を着る喜びを提供していきたい」と語る。

社長の想いがこもったファッションに興味をお持ちの方は、ジュビターショッピングチャンネルのホームページにて「ジン・カト」と検索し、ぜひ同社製品をご覧ください。

「蘭のことなら任せてください！」 蘭の輸入販売から栽培教室まで 湘南台の憩いの場によろこそ

ヒロタ
インターナショナルフラワー

ヒロタインターナショナルフラ

ワー(藤沢市湘南台、廣田哲也社長、0466・44・1600)の廣田社長は、昭和53年「廣田園芸」の洋蘭部で蘭の栽培に着手し、輸出入のため(有)ヒロタインターナショナルフラワーを昭和63年に設立した。その後、両社を統合して現在に至っている。

当初は海外に生産拠点をもち、全世界にオリジナル洋蘭苗を供給していたが、現在は日本を拠点として、洋蘭を専門に、小売、卸、生産を手がけている。同社オリジナル品種や諸外国から輸入した最新の品種を大手通販会社へ卸したり、同社独特の販売方法のもと、蘭の愛好者の皆様に数多くご提供してきた。

全国の有名同業者に同社売店に出店していただき、一般および愛好家向けのイベントを年4回開催している。来場者に楽しんでいただけるよう、オリジナルのプレゼントや花の説明、蘭の花の審査会、人気投票による各種商品を用意する。展示会の最終日に必ず行われる洋蘭オークションも人気の企画で、毎回約100人が参加、格安で蘭を購入したり、品種の紹介などに興味深く聞き入る姿が印象的だ。

また、同社の開催している洋蘭栽培教室も人気である。2カ月に一度講習会を行い、午前・午後の部で約50名の生徒さんを一般から募集し、蘭栽培を教えている。とかく難しいと言われる洋蘭を誰にで



店内を彩るさまざまな品種の蘭

ヒロタ
インターナショナルフラワー

も簡単に育てられるよう、1年で枯らさないように季節の変わり目を考慮し、1回2時間の講習を年6回組んだプログラムが教材3鉢こみで10,000円という格安の受講料も、好評を博している要因だろう。

蘭専門業者としての強みを活かした販売戦略により、今後日本の最先端の品種改良技術が培った良質の蘭を海外に多く販売していけるよう、日々努力を続けている。

最初のカルビー一皿100円!! 気軽に集まって呑み食いできる 武蔵中原の焼肉店

炭炭亭



炭炭亭(川崎市中原区下小田中、小島豊明店主、044・777・4129)は、平成12年に創業した焼肉店である。「みなさんの憩いの場にしてもらいたい」との思いからお店をオープンした小島店主が、地元のお客様が気軽に立ち寄れる親しみやすいお店づくりをめざし営業している。

武蔵中原駅そばの閑静な住宅地にあり、近所の家族連れや近隣の会社のサラリーマンで賑わい、著名人も常連に持つ人気店となっている。分かりやすい看板を目印に店内へ入ると、赤いフードのお洒落な排煙設備が目立っている。

同店のこだわりは、七輪を使った炭火焼肉。いつも来店されても、最初のカルビー一皿は100円(2名以上でご利用の場合、平日お越しのお子様にはアイスをサービスしており、好評を博している。事前にご連絡をいただければ、武蔵中原駅か武蔵小杉駅まで車で送迎す

るサービスも行っている。宴会の際には、お店全体を貸し切ってご利用いただくことも可能である。料理メニューでは、稀少部位シロコロをはじめ牛マルチョウ、コブチャンなどホルモンの品揃えに力を入れ、鮮度のよさには定評がある。締めには、本場盛岡から直送しているスープと麺を使用した冷麺がおすすめだ。また、活性酸素を中和する活性水素水を料理や飲み物全般に使用、水にもこだわっている。お酒メニューも、ハイボール11種類すべて1杯290円と、気軽に一杯呑みたいお客様へのニーズにも応えられるように低価格で提供している。

小島店主は「どうぞお気軽にお立ち寄りください。元氣な挨拶で、楽しく旨いひと時を提供します!」と熱く語る。

営業時間 17:30~23:30
不定休
駐車場完備(2台)



こだわりの炭火焼肉

独創的な発想から生まれた「シースルーアドカー」 車体を可視化し 臨場感あふれる街宣が可能に!

小池エンタープライズ(世田谷区鎌田、小池隆輔社長、03・3417・6510)は、創業より32年、放送中継やコンサート収録など、車内の長時間運用にも快適な環境を提供する多目的空間車両「サテライトカー」の運行管理を行っている。

また、最近では、同社のノウハウから、機動性と独創性を活かした画期的なシースルー構造を有する多目的イベント車両「シースルーアドカー」を開発した。掲載商品を独自の臨場感で引き立てることができるとともに、街中を走行しながらデモンストレーションを行うことにより、最大限の、広告・宣伝効果を実現する新製品である。

小池社長自身も前職時代に放送関連事業に携わっており、車内のアメニティを向上させたいという希望を持っていた。それが現在



用賀商店街も、マスコットキャラクター「よっきー」を乗せて通行人にPR!

「シースルーアドカー」は老若男女を問わず、時間や場所、天候に左右されることなく、見る方すべてに臨場感・開放感・安心感を提供できます。デジタル時代、ネット時代ならではの、なかなか試してくれない、信じてくれない、という悩みを即座に解決できる可能性を秘めています」と小池社長は語る。

ポップアップショップのように「街に突然、現れる」の発想が広告としての最大のインパクトを発揮し、イベントブースとしても他とは一味違った宣伝活動の実現へつながるだろう。ぜひお気軽にご相談いただきたい。

詳しくはホームページで
(<http://多目的車.com>)



「シースルーアドカー」

小池エンタープライズ

金型の設計・製作も手がけてコストダウン モノづくり大田のネットワークで 金属プレス加工一筋

磐梯工業

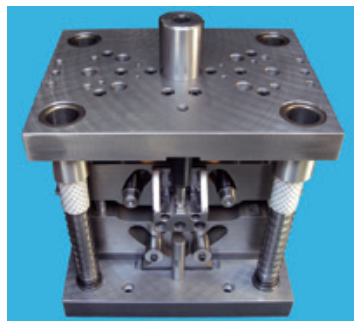
磐梯工業(大田区大森西、渡辺直樹社長、電話03・3761・1818、FAX03・3761・1118)は、昭和34年に個人事業にて創業して以来、金属プレス加工技術を磨いてきた。

昭和42年に現「有」磐梯工業として法人成り、小ロット品を中心に、ガス機器部品の金属プレス加工のほか、現在では、建築・船舶・遊戯関連・減圧弁関連・油圧用継手などさまざまな分野の金属や樹脂部品のプレス加工を行っている。

また、平成に入った頃から金属プレス金型の設計・製作も取扱いはじめ、品質の向上とトータルコスト低減に努めている。

近年では、

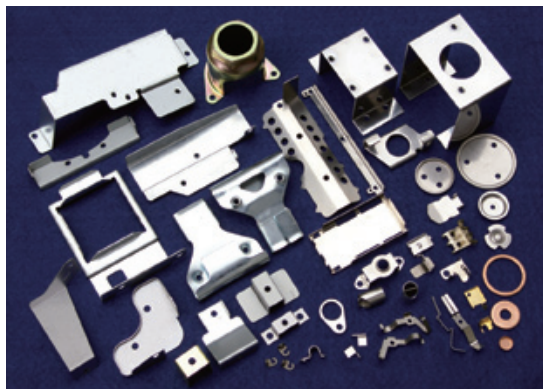
板材の加工にとどまらず、「パイプ材の穴あけ、棒材の切断・曲げ加工や、治工具類の設計製作、さらにはプレス金型の開発も手がけ、油圧用継手の厚肉パイプ材曲げ加工については製法特許を取得しています」と、渡辺社長は同社の取組みを語る。



油圧用継手厚肉パイプ材曲げ金型

お客様からのさまざまなご要望にお応えするため、試作から部品量産化のお手伝い、生産工法のプレス加工化によるコスト低減のご相談など、モノづくりの街「大田区」の町工場ならではのネットワークを活かし、プレス加工以外のお問合せにも小回りのお問合せにも小回りのきく柔軟な対応を心がけて好評を博している。

見積りの試算、納期のご相談など、詳しくはホームページよりお気軽にお問合せください。(http://bandai-kg.com)



同社の技術力が窺える製品の数々

コンベヤシステムのプロフェッショナル 「お客様のありとあらゆるニーズに、 真企機工が応えます」

真企機工

どの企業も直面する生産効率の向上とコスト削減。その課題を解決する1つの手段が「コンベヤシステム」である。真企機工(中央区日本橋、山田茂樹社長、代表電話03・3275・2321、FAX03・3275・2322)は、お客様の施設に合わせたフレキシブルなシステム構築を可能とし、小さな箱や簡単な加工物から、搬送設備やプラントなど大規模システムまでオーダーメイドにてお応えしている。コンベヤのプロフェッショナル集団である同社が、設計から製造、組立、設置まで一貫対応し、お客様に最大限のメリットをもたらすプランをご提案する。

コンベヤシステムは業種や施設によって可変的であればならぬ。生産・物流関連のお客様の場合は、運搬物によってさまざまな形状や方式が必要となる。また、近年は工場美化のための環境にも配慮した細やかなご要望も、お客様との綿密な打合せによってすくい上げ、理想的なコンベヤシステムを構築していく。

業種、取扱商品、作業工程、施設、予算など、コンベヤシステムの設計・製造の基本となる複数の条件のうちでも重要となるのが、取扱う製品の幅広さである。お客様にとって最適なシステムを構築するために、設立以来数多くの商品を手がけてきた中でも、特に同社オリジナルのパイプ式コンベヤ「パイコン21」は、水平、傾斜、垂直のあらゆるレイアウトでなおかつ複合



同社の代表的なパイプコンベヤ「パイコン21」



移載コンベヤ

する角度でも一駆動で搬送できる構造を有するコンベヤである。マシニング、切粉、食品残渣、生ゴミなどさまざまな搬送用として、多くの自治体や企業様にご利用いただいている。

「パイコン21」の他にも豊富な種類のコンベヤを取扱っている。詳しくはホームページにて
(<http://www.shinkikoh.com/>)

常識に100%とられない冒険と探究 違いを生み出し続ける 自由なデザイン

100percent



「Peti Peto」



「サクラサクグラス」

100percent(品川区西品川、坪井信邦社長、03・5759・6747)は「モノ作り」こそその卸売業を生業としている。創業以来常に冒険心と探究心を持ち、誰かに要求されたものではない、自由な「モノ作り」をしている。

結露現象を逆手にとってテンプルクロスを桜模様にする「サクラサクグラス」、折り紙をモチーフに形状を記憶させたポリエステル素材の眼鏡クリーナー「Peti Peto」、最新の3Dレーザー技術を用いてドットやストラップ柄を刻んだカトラリー、19世紀の天気予測器をイメージしたしずく型のオブジェ「Tempo Drop」、星形パネルのフットサルボール……同社スタッフですら戸惑うような、古今東西入り交じって一見荒唐無稽な商品展開。しかし、そこに貫かれた「モノ作り」に対する想いは、むしろ純粋で潔い。

在しなかった技術や製造方法の開発に挑戦しつつも、未だ商品化できていない数多のモノ。すべて、ひとつの商品が背負う価値がある。デザインする人、つくる人、得る人、使う人、贈る人……同社のモノ作りに関わったあらゆる人間と、善し悪しでも勝ち負けでもない、何ものにも変え難いその付加価値を求め、生み出し、共有し続けたいと望む。坪井社長は「いつの日か、『やっぱり100percent』と言っていたために、スタッフ一同これからも日々励んでまいります」と熱く語る。

一昨年、静岡県沼津市に設けた初の実店舗「Mission Bay」は、社員とお客様がモノ本来の価値を、体感・共感できる空間となっている。商品に興味をお持ちの方は、ぜひ同社ホームページ(www.100per.com)で詳細をご覧ください。



同社物流拠点に併設した実店舗「Mission Bay」

ビジネスを通じて途上国を支援する 「つくる人によるごびを 着る人にやさしさを」

フェアトレード
カンパニー



Bangladeshの生産者団体が運営する学校で子どもたちと触れ合う、サファイア・ミニ代表

フェアトレードカンパニー(世田谷区奥沢、サファイア・ミニ代表、03・5731・6671、<http://www.peopletree.co.jp>)は、フェアトレード専門ブランドの「ピープル・ツリー」を運営する、フェアトレードファッションの世界的パイオニアである。

アジア、アフリカ、南米の12カ国、約140団体と協力して、オーガニックコットンをはじめとする衣料品やアクセサリ、食品、雑貨など、可能な限りその地域で産出する自然素材を用いた手仕事による商品を企画開発・販売している。

商品づくりに手織り、手編み、手刺繍といった機械に頼らない手仕事を活かすことで、途上国の経済的・社会的に弱い立場の人びとに適正な収入の機会を提供し、伝統技法の継承にも貢献している。公正な価格での支払い、デザイン・技術研修の支援、継続的な注



「ピープル・ツリー 自由が丘店」(目黒区自由が丘 3-7-2、03・5701・3361)

文を通じて、環境に配慮した持続可能な生産を支えている。

オープン17周年を迎える自由が丘のフラッグシップショップを筆頭に、モザイクモール港北、東武百貨店池袋店に直営店を出店。同時に、オンラインショップの運営も行っている。直営店では、最新コレクションの衣料品からアクセサリ、雑貨、食品までさまざまな商品が並び、同社の提案するエシカルな(＝不当労働などの犠牲を生まない、環境保全や社会貢献をめざす)ライフスタイルを体感していただくことができる。オーガニック素材や手仕事ならではのやさしい風合い、つくり手の背景が見える安心感から、ファンになったというリピーターも多い。また、フェアトレード運動をもっと身近に感じてもらえるよう、イベントやワークショップも随時開催し、好評を得ている。



「記念に残るアルバムギフト」

『記念に残るアルバムギフト』
カタログギフトの冊子は、好きな商品を選んだら捨ててしまう。記念品なのに、形として残らないデメリットがある。そこで、開発したのがアルバムタイプ。商品を選んだ後はアルバムとして利用でき、記念に残せる。アルバムのデザインも全26種類、贈る相手に合わせて選ぶことができる。

『記念品+選べるグルメプレシャスセレクト』
グラス、カップ、丼などの記念品とグルメカタログをセットした商品。全23カテゴリから、たとえばラーメン丼とラーメンカタログと一緒に贈れば、28種類のラーメンの中から好きなものを1点選ぶことができる。

どのギフトも、贈る相手に「感動」を伝えられるよう工夫された商品となっている。用途・予算に合わせて、お気軽にご相談ください。



「記念品+選べるグルメプレシャスセレクト」

「顧客の認める独自の価値を生み出し、提供する」というコンセプトで、引出物、結婚・出産内祝い、お中元・お歳暮、香典返しなど、他にはない同社の独自性が評価され、返礼品として幅広くご利用いただいている。

「顧客の認める独自の価値を生み出し、提供する」というコンセプトで、引出物、結婚・出産内祝い、お中元・お歳暮、香典返しなど、他にはない同社の独自性が評価され、返礼品として幅広くご利用いただいている。



「メンズレディスコレクション」

『メンズレディスコレクション』
業界初の男性/女性専用カタログギフトを、今年1月15日に発売。男性には男性物の商品だけをカタログにし、選んでもらう。受け取った方にもきつと「俺のため」「私のため」に贈ってくれたと喜んでいただけるはずだ。

「感動」を贈る…… お客様に認められる独自の価値を生み出す 選べるカタログギフトメーカー

マイプレシャス